

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月13日

上場会社名 株式会社鴨川グランドホテル 上場取引所 東
 コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 健史
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)四野宮 章 (TEL)04(7094)5581
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,855	13.7	102	—	45	—	115	66.7
25年3月期第3四半期	2,510	10.3	△60	—	△114	—	69	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	11.08	—
25年3月期第3四半期	6.65	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	6,581	823	12.5	21.44
25年3月期	6,546	707	10.8	10.34

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 823百万円 25年3月期 707百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	9.7	50	—	△35	—	35	61.3	3.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	10,453,920株	25年3月期	10,453,920株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	17,936株	25年3月期	16,737株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	10,436,779株	25年3月期3Q	10,437,209株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—		
26年3月期(予想)				0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国の成長鈍化や円安によるエネルギー費用等の上昇、消費税引上げ決定などの景気への下振れ要因はあるものの、円安・株高を背景に緩やかな回復基調が続いております。

リゾートホテル業界におきましても、個人消費が堅調に推移していることから海外・国内共に増加基調にありますが、太平洋沿岸地域においては地震への不安や放射能汚染の風評被害は依然として続いております。

そのような状況の中で当社は、引続き販売力の強化及び収益力の回復を主要課題として取り組んでまいりました。特に、顧客ニーズに合わせた弾力的な価格対応とインターネット販売の強化を図るとともに人件費・経費の見直しの再徹底を行ってまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の営業収益は2,855百万円（前年同四半期比13.7%増）となり、営業利益は102百万円（前年同四半期は60百万円の損失）、経常利益は45百万円（前年同四半期は114百万円の損失）、四半期純利益は115百万円（前年同四半期比66.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ35百万円増加し、6,581百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ145百万円増加し、1,067百万円となりました。これは主に、未収入金が73百万円減少したものの、現金及び預金が211百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ110百万円減少し、5,514百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が35百万円増加したものの、建物が142百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ58百万円減少し、5,015百万円となりました。これは主に、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が75百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ22百万円減少し、741百万円となりました。これは主に、長期預り保証金が9百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ115百万円増加し、823百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、第3四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、平成25年11月8日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度におきまして4期連続営業損失を計上しましたが、当第3四半期におきましては課題克服のための諸施策が奏効し黒字転換をいたしました。しかしながら、未だ風評被害の影響が残る主力ホテルは震災前水準への回復には至っておりません。

このような状況からの早期脱却を図るべく、引続き営業強化に向けた諸施策の実施、人件費・経費の見直し・圧縮によるキャッシュ・フローの創出等業績の回復に取り組んでまいります。

また、金融機関の支援体制も得ており、改革を着実に実行していくことにより業績と信頼の回復に努めてまいります。

これらの対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	550,583	761,818
受取手形及び売掛金	154,741	139,463
たな卸資産	47,767	71,056
未収入金	100,675	27,313
その他	67,735	67,566
貸倒引当金	△307	△201
流動資産合計	921,194	1,067,016
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,166,417	12,177,134
減価償却累計額	△8,369,841	△8,522,623
建物(純額)	3,796,576	3,654,510
構築物	519,826	519,826
減価償却累計額	△466,105	△468,973
構築物(純額)	53,721	50,853
機械及び装置	227,936	228,129
減価償却累計額	△203,399	△202,980
機械及び装置(純額)	24,537	25,148
車両運搬具	38,090	35,169
減価償却累計額	△30,677	△29,528
車両運搬具(純額)	7,413	5,641
工具、器具及び備品	846,489	852,209
減価償却累計額	△769,661	△773,782
工具、器具及び備品(純額)	76,828	78,426
土地	1,086,529	1,086,529
リース資産	62,160	66,640
減価償却累計額	△39,636	△48,623
リース資産(純額)	22,524	18,017
建設仮勘定	—	35,700
有形固定資産合計	5,068,130	4,954,827
無形固定資産		
投資その他の資産	27,741	32,046
投資有価証券	118,689	120,708
差入保証金	240,305	240,089
保険積立金	143,150	143,150
その他	33,906	30,405
貸倒引当金	△7,007	△7,004
投資その他の資産合計	529,043	527,348
固定資産合計	5,624,915	5,514,222
資産合計	6,546,110	6,581,239

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	78,552	124,193
短期借入金	3,917,200	3,888,793
1年内返済予定の長期借入金	677,083	630,477
未払金	22,204	8,138
未払費用	210,362	206,734
未払法人税等	12,251	12,963
未払消費税等	20,885	26,742
賞与引当金	—	13,516
その他	135,704	104,326
流動負債合計	5,074,243	5,015,885
固定負債		
繰延税金負債	13,176	13,399
退職給付引当金	159,906	153,651
役員退職慰労引当金	17,791	17,791
長期預り保証金	552,342	542,742
その他	20,781	14,009
固定負債合計	763,997	741,593
負債合計	5,838,240	5,757,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	△441,667	△326,062
自己株式	△3,682	△3,871
株主資本合計	679,998	795,415
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,870	28,344
評価・換算差額等合計	27,870	28,344
純資産合計	707,869	823,759
負債純資産合計	6,546,110	6,581,239

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益	2,510,737	2,855,761
営業費用	2,571,454	2,752,872
営業利益又は営業損失(△)	△60,716	102,889
営業外収益		
受取保険金	5,672	561
助成金収入	4,776	1,348
その他	10,906	12,141
営業外収益合計	21,355	14,051
営業外費用		
支払利息	75,070	70,988
その他	152	462
営業外費用合計	75,223	71,450
経常利益又は経常損失(△)	△114,585	45,489
特別利益		
受取補償金	199,942	86,841
特別利益合計	199,942	86,841
特別損失		
固定資産売却損	—	70
固定資産除却損	375	2,215
損害賠償金	9,300	—
特別損失合計	9,675	2,285
税引前四半期純利益	75,681	130,045
法人税、住民税及び事業税	6,324	14,439
法人税等合計	6,324	14,439
四半期純利益	69,356	115,605

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,964,829	448,804	2,413,633	97,103	2,510,737	—	2,510,737
セグメント利益又は損失 (△)	△28,209	33,073	4,864	△19,040	△14,176	△46,540	△60,716

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△46,540千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	2,285,405	468,020	2,753,425	102,335	2,855,761	—	2,855,761
セグメント利益又は損失 (△)	113,216	42,247	155,464	△6,188	149,276	△46,386	102,889

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△46,386千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。